

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5 年 10 月 18 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100348		
法人名	(株)ニックス		
事業所名	グループホーム花咲楼		
所在地	広島市東区尾長東2丁目6-34 (電話) 082-568-7007		
自己評価作成日	令和5年8月27日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490100348-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490100348-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年10月11日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>①ご利用者様の誕生日や年祝いには職員により、手作りケーキでお祝いをしている。 ②庭に畑があり、ご利用者様と一緒に苗を植えたり収穫をしている。 ③週一度麺類の日があり、日頃食べておられない食事を提供している。 ④年に3度の大きな行事を予定しそこへ向けて、利用者様の得意なことを活かし成功にむけて、準備を共に行っている様に努めている。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>コロナ禍の為、例年の行事が自粛になった中、利用者の誕生日や祝い事の行事の際に、手作りケーキやトッピングを楽しみ、週一度の「麺類の日」を設けて楽しみの工夫を行う等の食支援を行っている。それらを通じて、利用者の満足感や気持ちの安定に繋げ、穏やかに過ごせるよう工夫している。声かけに関しては、イメージとして利用者の記憶に残る等の、認知症の特性を踏まえ、望ましい声かけを事業所全体で話し合い実践に努めている。また管理者を中心として、それぞれの利用者の強みを活かし、次期の夏祭りの企画を予定しており、日常の生活の中で出来る事・得意な事・生き方のこだわり等を再発見する視点を持ち「相手本位の心」の理念のもと、介護現場に活かすよう取り組んでいる。</p>
---

自己評価	外部評価	項目( 花咲楼1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所の理念「相手本位の心」に基づいて、ご利用者様の尊厳を保ち、受容する心と理解する心を持ち介護に従事している。	法人の理念を事業所理念として掲げ、職員は利用者とコミュニケーションをとりながら「相手本位の心」を心掛けている。	「相手本位の心で、認知症状の進行を穏やかにする」事をケアの中心としており、事業所の風土となっている。今一度、職員は立ち戻れる事業所理念の存在を認識し、全員で共有できるように、掲示や唱和・学習会など身近な事から取り組み、理念を実践につなげる取り組みを期待する。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	現在まだコロナ対策の一環において、交流は控えておりますが、行事再開においては、町内会や保育園などの交流も考えている。ご近所様とばったり会う機会などはご挨拶等行っている。	コロナ禍にて地域との交流は殆ど無かったが、管理者は自治会役員宅に訪問し、地域の情報を得るなどがあった。今後は、音楽関係のボランティアの受け入れを検討している。地域からの相談で、管理者は認知症ケアについて伝える事もある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会への参加もご訪問できておらず、ご家族様にも電話やアンケートなどにとどまっている。一方で、入居希望者などの相談に来られた際には認知症ケアについてお話しさせて頂いている。	/	
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	未だ、コロナ対策の一環として年間通し、開催できる月はなく、アンケート用紙を送付しそれを基に運営推進会議録を作成し、ご家族に送付しご理解を頂いた。	コロナ禍の為、書面による運営推進会議となったが、事前アンケートから得られた質問や意見に対して事業所の方針や思いを送付している。次回からは通常の対面会議となり、普段の利用者や事業所の様子を映すなどの工夫に取り組む予定である。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	必要時に電話等により連絡連携を取れる様に努めている。	事業所指定更新などの手続きについて介護保険担当者に直接、問い合わせるなど、普段から市町と連携をとっている。	

自己評価	外部評価	項目( 花咲楼1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束委員会を設置し、毎月ミーティング時に身体拘束について話し合いを設けている。玄関の施錠に関しては、防犯上の理由からも電子ロックを使用している。現在は身体拘束は減少している。</p>	<p>年2回の研修や毎月のミーティング時に、身体拘束適正化委員会を行い、管理者を中心に「絶対、身体拘束をしない」と認識を重ねている。「なぜ、この反応・行動となったか」を個別のケースでひも解き、代替の声かけや心身に対して拘束をしないケアに職員全体で取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>ちょっとしたことも虐待であるという旨をミーティング等で話し合っており、行動や言葉などの虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在、当事業所では複数の成年後見制度を用いている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には内容をご説明し、理解と納得を頂いております。リスク説明に関しても同意書を頂いております。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>アンケートなどご家族様よりのご意見は真摯に受け止め、職員間で共有し改善を図っています。ご意見箱も設置している。</p>	<p>面会時や運営推進会議の事前アンケート・メールを通じて家族からの意見を聞き、事業所の方針や対応などを伝えている。毎日の生活の中で利用者からの希望があれば職員が察知し、利用者が必要とする飲み物等を継続できている例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 花咲楼1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員からの意見や要望はその都度対応している。</p>	<p>管理者は定期的なミーティング時以外にも、誕生日プレゼントやイベントの内容など、職員のアイデアや意見を聴いている。カラオケ機器の購入・勤務時間面での業務改善などに繋げ、職員の声を運営に反映させるよう努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>半期に一度個人評価を行っており、生き生きとした職場環境へと意見を聞く場を設けている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>社内研修を月間で定期的に行われており、質の向上を目指して各々が取り組めるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>入居状況などについて情報交換することもあるが、以前の様に交流の場に出るといった機会は難しくなっている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>ご本人、ご家族様と会話しながら、不安な事などの解消に努めたり、要望などをご納得頂けるよう説明しながら信頼関係を高めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 花咲楼1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族等が困っていることや不安に思っていることなどに傾聴し、信頼関係を構築していく。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	サービス開始にあたって、まず必要とすべき支援をご本人、ご家族、職員、ケアマネと情報に基づいて見極めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	コミュニケーションを図ったり、共に洗濯を行い片付けしたりすることで生活の支援に向けた関わりをもっています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	コミュニケーションを図りながら、支援を行っていくことにおいて、家族様の情報やお力をお借りしながら、共に、支えていける関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	本人様が歩んでこられた人生の中での会話や場所の情報などのコミュニケーションを取りながら、思い出や馴染みの洋服など、四季に応じた食事環境を整えているように努める。	職員は、利用者の家族・親戚・友人等との手紙・年賀状を手伝い、国外からの電話も円滑に会話できるよう電話の取り次ぎなど行っている。利用開始後、月1回の訪問理美容のスタッフと顔なじみとなり表情や会話量も多くなり、馴染みの関係が継続できるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目( 花咲楼1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	デイルームにおいて、交流を続けていくにつれ、馴染みの関係が出来、共に生活している環境作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	利用中止となったおりも、必要に応じて近況を聞いたり、ご家族様からの相談事にフォローするなど支援に努めている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人様や家族様より希望、意向を聞き、職員間で共有し、その人らしく生活できるよう自立支援のもと支援をしていく。	日頃の会話や表情で、希望や思いを把握し申し送りノート・個人記録にて共有している。お話好き同士の席を職員が仲介し、会話を楽しむことで気持ちが落ち着いていた例がある。言語表出や難聴の時はジェスチャーを交えたコミュニケーションを図り、思いを把握している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	生活歴を把握し、残存機能を活かしながら、その人らしく暮らしていける様、他利用者や職員が馴染みの関係を作っていくよう努める。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	その人らしく生活していく中で、心身状態に気を配り、出来る所(ストロングポイント)を見つけて人らしく生きていく環境を整える。		

自己評価	外部評価	項目( 花咲楼1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人様、家族様の意向を踏まえ、ケアマネ、看護職員、介護職員、管理者同席の上カンファレンスを行っている。</p>	<p>利用者毎の担当職員が、普段の様子などの情報を介護計画作成者に伝え、作成者は本人・家族の思いや医療情報を含めて計画作成をしている。安全な立位保持の介助方法を職員と話し合う等、具体的に記している。3か月を目途にモニタリングし必要時はその都度、見直しを行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々、個別記録を記入しており、職員間で共有し、介護計画書に活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その都度発生する真のニーズに対応して柔軟に支援を行えるよう努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>コロナ禍において外出が制限されているなかで、職員が出入りする際挨拶をするよう努めている。そんな中でも理美容に関しては定期的に来所いただいております、気持ちの切り替えにも繋がっている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>2週に一度、主治医の往診がある。かかりつけ医の医療を受けられる様支援していく。また、月一度の歯科往診もお願いしています。</p>	<p>利用開始前のかかりつけ医を継続可能な事と、連携をとり易い提携医療機関を説明し本人・家族が選択している。訪問診療時には必ず、事業所の看護師が同席し、他科の受診時には必要に応じて看護師が医療機関と直接やり取りを行い、適切な医療とケアが受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 花咲楼1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b>  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職員との連携は整えており、介護職員は日々のご利用者様の変化を報告し、主治医と連携を取り、支援している。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b>  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様の入院時は状態をご家族と病院関係者に共有し、退院時も情報共有をおこない速やかに退院できるよう努めている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b>  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に重度化した場合についての説明と同意書にサインを頂いている。事業所で出来ることと出来ない事を説明し、職員や医療関係者と連携を図りながら支援している。	契約時に、重症化の場合や終末期における事業所の方針を書面にて説明し、変化する状況によってその都度、説明をしている。本人・家族からの要望を聴きながら医師が今後の方向性を決め、事業所における看取りの体制を整えている。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b>  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時対応はマニュアル化して対応しており。社内研修でも行っている。定期ミーティングにおいて確認を行っている。		
35	13	<b>○災害対策</b>  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年二度の防火訓練を実施している。備蓄品も用意して消費期限チェックを行い入れ替えも行っている。	年2回、防火訓練・避難経路の確認を行っており、消防署の協力を得る事もある。異変があった時に自動に作動する機器の内容や取り扱いを職員全員が熟知するよう取り組んでいる。備蓄は完備しており、有事の際は同敷地内や同法人事業所からの協力も得られる体制となっている。	



自己評価	外部評価	項目( 花咲楼1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者様に対しての言葉使いや声掛けに尊厳をもって接するよう努めている。月間ミーティングの中で、話し合う様になっている。	定期的な研修を行い、特に言葉使いや声かけは、利用者に大きく影響を及ぼすことを職員は意識し、職員間で話し合いながら人格を損ねない対応に取り組んでいる。申し送り時はプライバシーに配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者様の意思決定を尊重し支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務内容の優先せず、利用者様のペースに合わせて生活していけるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	月に1度美容師が来所され散髪を行っている。また、起床時には整容していただいている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事はその人に合わせた食事形態で提供している。出来るだけ自分で食べて頂けるように支援しています。週に一度は麺類の日があり、ラーメンやうどん、パスタなどを提供している。	法人の配食部で調理した食事が提供され、週1回は麺類の日を設けている。年度によって畑で胡瓜が採れる事があり漬物にしたり、誕生会ではカップケーキのトッピングを楽しむ等の機会がある。体調と食事形態に配慮し、盆拭きや食器片づけが継続できるよう支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目( 花咲楼1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事・水分量は記録にとり、月に1度体重測定を行っている。その人に合った食生活を提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアは行っている。ご自分でできる部分は行ってもらっている。また、歯科往診も行っており、口腔状態の維持に努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>できる限り、トイレでの排泄を心掛けている。毎回記録を取り、排泄パターンの把握に努めている。</p>	<p>トイレでの排泄を基本とし、排泄パターンや仕草・心情に合わせて声かけを行っている。オムツからリハビリパンツに移行するタイミングを職員間で話し合う等、個々の支援を行い、排便前のサインを察知する事に努め、排泄の自立に向けた支援に取り組んでいる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>利用者様に合わせた排便コントロールを行っている。水分摂取や運動することで自然排便につながるよう支援している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>週に二回は入浴を提供している。利用者様のADLに合わせて機械浴や一般浴を提供している。本人様の習慣に沿えるよう支援している。</p>	<p>身体状況により、1階の特殊浴槽にて車椅子のまま安全に浴槽に浸かる事ができ、2階の一般浴槽では利用者に合わせて介助や見守りを行っている。時には、利用者に適した他の生活動作を勧め、タイミングを合わせて入浴の声かけを行い、気分よく入浴出来るよう工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 花咲楼1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	生活習慣の把握に努め、ご利用者様に合わせた就寝介助を行っている。また、その時に応じ臥床支援に努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬内容の把握に努め、副作用の理解をもとに支援もおこなっており、特変あるようなら看護師に相談し、症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	日々生活をしていく中で、その人のできることを見極め、役割を見つけて提供している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナ対策を継続にあたり中々外出が難しいですが、晴れの日には日光浴を行ったり、畑の野菜収穫など日常と非日常を心がけながら支援している。時期を見て散歩などの支援も予定している。	コロナ禍にて外出は自粛しているが、季節に合わせ花見等の企画中である。家族協力による外出や外食が円滑に実現するように支援している。玄関先で外気に触れたり畑の様子を見に行く等、出来る範囲で外出支援を行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	要望があれば、預り金で買ってきて提供している。現在、コロナ対策を継続にあたり買い物介助は控えている。要望に応じて職員同行や家族様同行など対応していく。		

自己評価	外部評価	項目( 花咲楼1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話などの要望があれば、お取次ぎしている。また、暑中見舞いや年賀状も書けるようには書いていただき家族様とのコンタクトを取っている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>壁には利用者様と一緒に作成した季節の作品を飾ったりして季節感を感じてもらっている。</p>	<p>職員と創った貼り絵・紙の花束・絵画を飾り、普段は個々の特性に配慮し穏やかに過ごせるよう雰囲気作りに努めている。職員は、その日の利用者の様子に合わせて共有空間での過ごし方を考え、時には唱歌を聞きながら手拍子を楽しみ、或いはサッカー風に足を動かす等工夫をしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ダイルームにおいて、ソファを設置したり、ワンテーブル3～4名とストレスにならないような空間づくりに努めている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>馴染みのある家具やお茶碗やコップ、写真などを掲示しており、居心地よく過ごせるように努めている。</p>	<p>それぞれの部屋は花の名前とし、淡色系のカーテンが用いられている。レンタルの布団、或いは使い慣れた布団にバスタオルを掛け、見慣れた時計・テレビ・家族写真等を置き、自分流の部屋となっている。身体状況や利用開始前の暮らしを参考に、安全な家具配置を助言している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>残存機能を把握に努め、できることは自分でやっていただき、難しい部分はできるような支援を行っている。</p>		

V アウトカム項目( 花咲楼1F ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目( 花咲楼2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所の理念「相手本位の心」に基づいて、ご利用者様の尊厳を保ち、受容する心と理解する心を持ち介護に従事している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	現在まだコロナ対策の一環において、交流は控えておりますが、行事再開においては、町内会や保育園などの交流も考えている。ご近所様とばったり会う機会などはご挨拶等行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会への参加もご訪問できておらず、ご家族様にも電話やアンケートなどにとどまっている。一方で、入居希望者などの相談に来られた際には認知症ケアについてお話しはさせて頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	未だ、コロナ対策の一環として年間通し、開催できる月はなく、アンケート用紙を送付しそれを基に運営推進会議録を作成し、ご家族に送付しご理解を頂いた。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	必要時に電話等により連絡連携を取れる様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 花咲楼2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を設置し、毎月ミーティング時に身体拘束について話し合いを設けている。玄関の施錠に関しては、防犯上の理由からも電子ロックを使用している。現在は身体拘束は減少している。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	ちょっとしたことでも虐待であるという旨をミーティング等で話し合っており、行動や言葉などの虐待防止に努めている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在、当事業所では複数の成年後見制度を用いている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には内容をご説明し、理解と納得を頂いております。リスク説明に関しても同意書を頂いております。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	アンケートなどご家族様よりのご意見は真摯に受け止め、職員間で共有し改善を図っています。ご意見箱も設置している。		



自己評価	外部評価	項目( 花咲楼2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員からの意見や要望はその都度対応している。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>半期に一度個人評価を行っており、生き生きとした職場環境へと意見を聞く場を設けている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>社内研修を月間で定期的に行われており、質の向上を目指して各々が取り組めるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>入居状況などについて情報交換することもあるが、以前の様に交流の場に出るといった機会は難しくなっている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>ご本人、ご家族様と会話しながら、不安な事などの解消に努めたり、要望などをご納得頂けるよう説明しながら信頼関係を高めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 花咲楼2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族等が困っていることや不安に思っていることなどに傾聴し、信頼関係を構築していく。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	サービス開始にあたって、まず必要とすべき支援をご本人、ご家族、職員、ケアマネと情報に基づいて見極めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	コミュニケーションを図ったり、共に洗濯を行い片付けしたりすることで生活の支援に向けた関わりをもっています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	コミュニケーションを図りながら、支援を行っていくことにおいて、家族様の情報やお力をお借りしながら、共に、支えていける関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	本人様が歩んでこられた人生の中での会話や場所の情報などのコミュニケーションを取りながら、思い出や馴染みの洋服など、四季に応じた食事環境を整えていけるように努める。		

自己評価	外部評価	項目( 花咲楼2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	デイルームにおいて、交流を続けていくにつれ、馴染みの関係が出来、共に生活している環境作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	利用中止となったおりも、必要に応じて近況を聞いたり、ご家族様からの相談事にフォローするなど支援に努めている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人様や家族様より希望、意向を聞き、職員間で共有し、その人らしく生活できるよう自立支援のもと支援をしていく。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	生活歴を把握し、残存機能を活かしながら、その人らしく暮らしていける様、他利用者や職員が馴染みの関係を作っていくよう努める。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	その人らしく生活していく中で、心身状態に気を配り、出来る所(ストロングポイント)を見つけて人らしく生きていく環境を整える。		

自己評価	外部評価	項目( 花咲楼2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人様、家族様の意向を踏まえ、ケアマネ、看護職員、介護職員、管理者同席の上カンファレンスを行っている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々、個別記録を記入しており、職員間で共有し、介護計画書に活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その都度発生する真のニーズに対応して柔軟に支援を行えるよう努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>コロナ禍において外出が制限されているなかで、職員が出入りする際挨拶をするよう努めている。そんな中でも理美容に関しては定期的に来所いただいております。気持ちの切り替えにも繋がっている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>週に一度、主治医の往診がある。かかりつけ医の医療を受けられる様支援しています。また、月一度の歯科往診もお願いしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 花咲楼2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職員との連携は整えており、介護職員は日々のご利用者様の変化を報告し、主治医と連携を取り、支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様の入院時は状態をご家族と病院関係者に共有し、退院時も情報共有をおこない速やかに退院できるよう努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に重度化した場合についての説明と同意書にサインを頂いている。事業所で出来ることと出来ない事を説明し、職員や医療関係者と連携を図りながら支援している。		
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時対応はマニュアル化して対応しており。社内研修でも行っている。定期ミーティングにおいて確認を行っている。		
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年二度の防火訓練を実施している。備蓄品も用意して消費期限チェックを行い入れ替えも行っている。		

自己評価	外部評価	項目( 花咲楼2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者様に対しての言葉使いや声掛けに尊厳をもって接するよう努めている。月間ミーティングの中で、話し合う様をしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者様の意思決定を尊重し支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務内容の優先せず、利用者様のペースに合わせて生活していけるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	月に1度美容師が来所され散髪を行っている。また、起床時には整容していただいている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事はその人に合わせた食事形態で提供している。出来るだけ自分で食べて頂けるように支援しています。週に一度は麺類の日があり、ラーメンやうどん、パスタなどを提供している。		

自己評価	外部評価	項目( 花咲楼2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事・水分量は記録にとり，月に1度体重測定を行っている。その人に合った食生活を提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後，口腔ケアは行っている。ご自分でできる部分は行ってもらっている。また，歯科往診も行っており，口腔状態の維持に努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>できる限り，トイレでの排泄を心掛けている。毎回記録を取り，排泄パターンの把握に努めている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>利用者様に合わせた排便コントロールを行っている。水分摂取や運動することで自然排便につながるよう支援している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>週に二回は入浴を提供している。利用者様のADLに合わせて機械浴や一般浴を提供している。本人様の習慣に浴えるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 花咲楼2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	生活習慣の把握に努め、ご利用者様に合わせた就寝介助を行っている。また、その時に応じ臥床支援に努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬内容の把握に努め、副作用の理解をもとに支援もおこなっており、特変あるようなら看護師に相談し、症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	日々生活をしていく中で、その人のできることを見極め、役割を見つけて提供している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナ対策を継続にあたり中々外出が難しいですが、晴れの日には日光浴を行ったり、畑の野菜収穫など日常と非日常を心がけながら支援している。時期を見て散歩などの支援も予定している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	要望があれば、預り金で買ってきて提供している。現在、コロナ対策を継続にあたり買い物介助は控えている。要望に応じて職員同行や家族様同行など対応していく。		



自己評価	外部評価	項目( 花咲楼2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話などの要望があれば、お取次ぎしている。また、暑中見舞いや年賀状も書けるところは書いていただき家族様とのコンタクトを取っている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	壁には利用者様と一緒に作成した季節の作品を飾ったりして季節感を感じてもらっている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ダイルームにおいて、ソファを設置したり、ワンテーブル3～4名とストレスにならないような空間づくりに努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	馴染みのある家具やお茶碗やコップ、写真などを掲示しており、居心地よく過ごせるように努めている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	残存機能を把握に努め、できることは自分でやっていただき、難しい部分はできるような支援を行っている。		

V アウトカム項目( 花咲楼2F ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム花咲楼

作成日 令和 5年 11月 5日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	周辺症状等の課題が出てきている。	落ち着いたその人らしく生活をおくる。	役割や心地の良いその人の居場所を見つけ出し提供する。 声掛け方やアプローチ。	12か月
2	2	コロナ禍において地域との接点がほぼない状況。	自治会などとセッションを取っていく。	徐々に外出機会を増やし、挨拶など少しでも交流につなげる。	3か月
3	13	職員の育成や成長。	研修も含め、学んだ知識の活用。そこからどうなったかの分析。	研修参加や成功事例の引用し、どう結果が出たかを見つけていく。 思いを形に。	12か月
4	43	徐々に自然排便も増えてきているが、まだまだオムツ内排便が目立つ。	出来る限りトイレで自然排便と普通便。	排泄パターンやメッセージを見つけ出しながら、腸内環境や運動を促していく。	6か月
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。